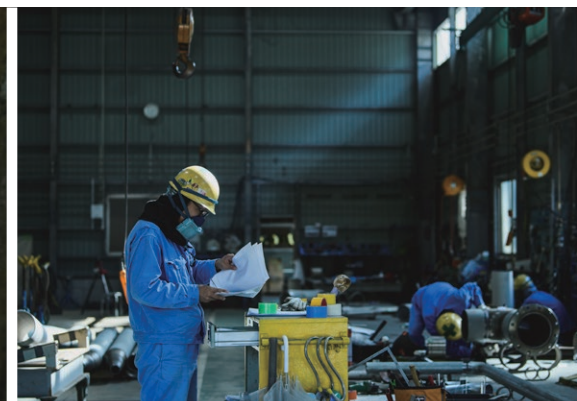


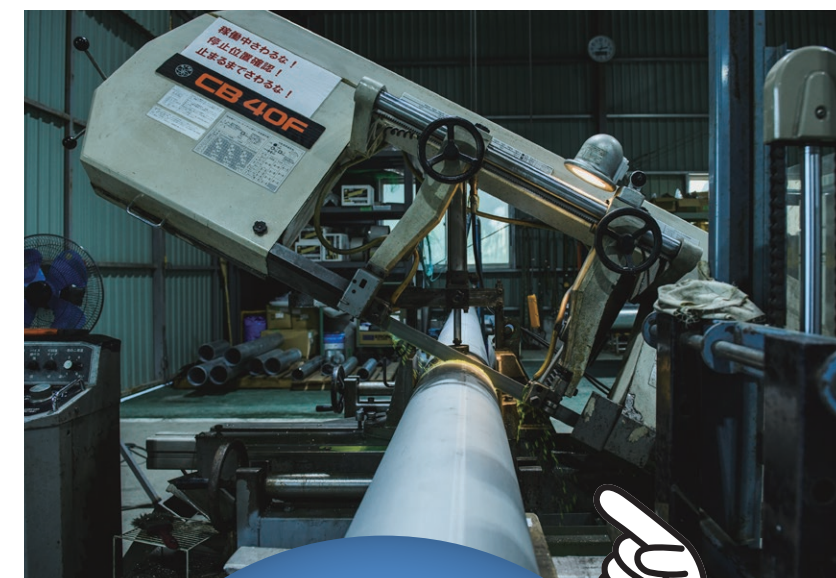
その他製造業

有限会社 森満工業

技術を磨き、人材を育み、
未来を切り拓く。



有限会社 森満工業
西彼杵郡長与町郷里郷1131-4
Tel.095-883-2115
Fax.095-860-3645
<https://morimitsukogyo.com/>
✉ mitsusaki@titan.ocn.ne.jp
代表取締役／森崎俊二
設立／1996年1月4日
資本金／300万円
業種／その他製造業
従業員数／110名



ロイド船級協会施工法・日本海時協会施工法の認定を受け、LNG船、客船等の船舶用及び発電プラント用のステンレス配管の製作している。強みはステンレス製の配管生産に特化していること。ステンレスは溶接に高度な技術を要し、専用の設備が必要ことから競合他社は少ない。技術継承のために資格取得の全面サポートを行うなど、若手の人材育成にも力を入れている。

補助事業の内容と成果

船舶・発電所用ステンレス配管製作専用の 高効率生産ライン構築による市場拡大

【事業のきっかけ】

世界各地でLNG基地が増加し、LNG船の受注量は伸びている。そんな中、配管メーカーは一貫生産体制によるコスト削減と短納期化を図りながら、高品質化を求められている。しかしステンレス専用の切断機がないため一貫した受注ができず、開先加工に関しても既存の設備では品質の面で課題を抱えていた。

【事業内容・成果】

今回は「ロータリーバンドソー」と「開先角度自動切削フェーシングマシン」を導入。ステンレスパイプの切断に使用するロータリーバンドソーは性能

が高く、大型のパイプも容易に切断できるようになった。また既存の切断機では鉄、銅、ステンレスと材質が変わるごとに刃先を交換する必要があり、効率が悪かったが、ステンレス専用を導入したことで、その手間が省けた。

開先加工に関しても、既存の設備では管材を押さえつけて開先を加工していたため、管材が短くなると変形する恐れがあったが、新機械の導入により高品質な加工が可能となった。

これら2種の機械の導入により、目標としていた一貫受注ができるようになった他、これまで外注していた大型配管も自社で製作できるようになり、コスト削減、納期短縮につながった。

【今後の展望】

LNG基地はこれからも増えていく。一貫受注ができるようになったことで、今後は県内のみならず、県外さらには海外も視野に入れて営業活動を拡げていきたい。

ものづくり補助金活用

加工量

0 ▶ 大型のものが月80本以上可能に。

納期も即日対応可能となり、品質も格段にアップ。
コスト削減のめどがついた。

県内外の営業

不可能一括受注が可能に。

競争力が大幅に向上したことで、
県内外の新規受注が可能となった。

Utilization
of
Subsidies